自立活動だより
みみちゃん
No: ６９
date : 2016.7.19
発行：松山聾学校
自立・連携課

「第38回 聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」体験発表より

＊＊お母さんの体験発表＊＊　静岡県　畑　薫　さん

ひびき No.69　平成28年4月30日

69 会報 響き

会長挨拶

会長　山崎　裕子

第三十八回　聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会

お茶菓を使べられる　聴覚支援室

協会メールアドレス：wasedanomori@amethyst.bribe.cc　協会ホームページ　http://www.13plala.or.jp/wasedanomori/

公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会が発行する会報「響き」69号に掲載されている「お母さんの体験発表」の一部を紹介いたします（掲載に当たり、協会より承諾をいただいています）。

（前略）･･･ その後、ろう学校の幼稚部に進級し、子どもだけでなく、付き添う母親への教育も受けるようになりました。（中略）「もっと遊びたい」という娘に、私は厳しく言葉を覚えさせていたこともありました。『早く話せるようにしなくてはいけない！』と、焦りを感じていました。なかなか言葉を覚えられない娘にイライラしたり、厳しく叱ってしまうこともあり、泣き出す娘と一緒に、私も泣けてしまうことも時々ありました。これは、今でも、私の大きな失敗だと反省しています。いつの間にか、母親というより先生になってしまっていたんですね。

『このままでは親子関係が悪くなる！』と思った私は、娘が生まれた時の気持ちを思い出しました。それは『いつまでもたくさん楽しく話ができる仲のいい母と娘でいたい』という気持ちです。人は、大好きな人とたくさん話したいと思うと、自然に言葉を覚えて行くのではないか？ つまり、言葉を教えることより『話したい気持ちを育てること』こそが大事だと強く感じるようになりました。そのためには、スムーズに伝え合える共通のコミュニケーション手段が必要で、それが私たち家族にとっては『口話』に加えて『手話』も取り入れることでした。それからは『家族みんなで同時に笑う』ことを意識するようになりました。

みなさん『お茶の間の孤独』という言葉を聞いたことがありますか？ 聞こえない人がひとりいる家族で、何かおもしろいことを聞いた時、聞こえる人だけがドッと笑い、聞こえない人が「なんで笑ってるの？」とキョロキョロしてしまうような状態を『お茶の間の孤独』というそうです。私は、はじめてこのことを知った時に、とてもショックを受け、娘にはそんな思いをさせたくないと思いました。家族で話す時には、娘も同時に知って、同時に笑って欲しい、冗談を言ったらツッこんでほしい、という願いがあり、『家族みんなで同時に笑う』ことを意識しました。おかげで、今でもボケとツッコミの絶えない家族です。私は、娘と息子、それぞれの『ありのままの個性を大事にしたい』と思っています。姐は十歳の頃、自分で『人工内耳にはしない』という決断をし、また、『聴こえない自分が好き』だと言い出しました。高校生になってから、自分から「補聴器はいらない」といって、今も、全く聴こえない状態でいるのが普通です。･･･ （後略）

全文をお読みになりたい方は、聴覚障害者教育福祉協会のホームページ（http://www13.plala.or.jp/wasedanomori/index.html）でご覧いただけます。

【書籍の紹介　その１】

日本手話で学ぶ 手話言語学の基礎

松岡和美（慶応大学教授）著
くろしお出版　（2500円＋消費税）

本書の読者として想定されているのは、
「言語学の基礎知識を持たない」
「手話言語学の基本を勉強したい」
という、聴者とろう者です。
（案内パンフレットより）

本書の内容を日本手話で説明した
ＤＶＤが付いています。

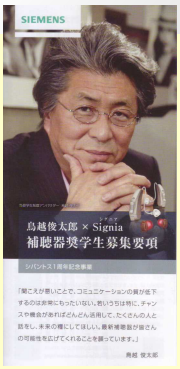
【書籍の紹介　その２】

よくわかる！ 聴覚障害者への 合理的配慮とは？

全日本ろうあ連盟　864円（税込み）

聞こえる人たちが想像する「差別」と、聴覚障害者が実際に体験している「差別」には大きな隔たりが依然としてあります。「聴覚障害者の差別事例と合理的配慮不提供の事例アンケート」から、代表的なケースを抽出し、障害者差別解消法や改正障害者雇用促進法を踏まえ、解説を行っています。

シバントス株式会社・補聴器奨学生募集結果



みみちゃん66号でお知らせした、シバントス社の補聴器奨学生募集の結果についてお知らせします。全国で440名の応募があり、抽選で139名の方々に対して同社の補聴器の無償提供が行われました。

本校でも２名の生徒が当選し、補聴器奨学生としてシバントス社の最新型補聴器を提供していただきました。愛媛県では全国で６番目に多い21名の応募があったそうです（愛媛県のみの当選者数は不明です）。当選した生徒の皆さん、この補聴器を活用して、今以上に勉学に励んでください。

なお、同社ではこの事業を来年度も行うとのことです。

愛媛県難聴児を持つ親の会の御紹介

「愛媛県難聴児を持つ親の会は、難聴児が抱える様々な問題に向き合いながら、世代を越えた仲間とともに、子供たちの未来を考え、見守っていける、情報発信の場でありたいと考え、発足して20年以上、活動に取り組んでいます。」　（会長挨拶より）

なによりも「こどもたちの笑顔」のために。
笑顔で生活できるために・・・必要な情報を発信します。
笑顔で遊べるように・・・・・参加して楽しかった～
と言える活動を企画します。
笑顔でいってきま～す
と言えるように・・・・・・・学校の先生と情報を共有していきます。

親の会では会員を募集しています。
会費は、正会員は年間3500円で、賛助会員（ろう学校や難聴特別支援学級の先生等、活動に賛同してくださる方）は、会報の発送の有無により、年間3500円から1000円になります。
詳細は事務局（mimiehimeoya@gmail.com：@は小文字に変えてください）へ直接お尋ねいただくか、本校聴能言語室までお問い合わせください。

愛媛人工内耳装用児の会「うさぎのわ」の御紹介

「重度聴覚障害の子どもに『人工内耳』という手術を選択した愛媛県内の人工内耳装用児とその親の集まりです。０才から18才までの装用児25名（H26.12 現在）とそのきょうだい、親が活動をしています。」

保護者の多くが、子どもの聴覚障害を告げられてその障害を十分に理解できないまま、心の中で葛藤を繰り返すと同時に、小さな子どもの子育てに不安を抱えながら、日々の生活を送っています。生き方や考え方、術後のリハビリも含めて覚悟をもって人工内耳手術を決めなければならないので、保護者の精神的・心理的負担は大きく、情報交換ができる場や保護者同士、子ども同士の交流の場、そしてこれから手術を考える保護者に対しても不安や悩みを打ち明ける場、実際の子どもたちの様子や姿に触れ合う場が必要と感じ（中略）平成25年10月に愛媛人工内耳装用児の会「うさぎのわ」が誕生しました。　**（ホームページより）**

「うさぎのわ」では会員を募集しています。
会費は、会員、賛助会員ともに年間1000円になります。
詳細は事務局（ehimeusaginowa@yahoo.co.jp：@は小文字に変えてください）へ直接お尋ねいただくか、本校聴能言語室までお問い合わせください。「うさぎのわ」の活動はフェイスブックでも見ることができます。

小学校への訪問支援を実施しました

本校は、地域の小・中学校等に訪問しての支援も行っています。先月は、西条市立橘小学校で、聴覚障がいを理解するための授業をさせていただきました。

約100名余りの全校児童に、実際に補聴器の音を聞いてもらったり、読話（口の動きで何を言っているかを理解する）の体験をしてもらったりしました。

集会は、高学年児童の司会で進められました。ＦＭマイクを使って進行する児童の隣には、交代で手話通訳を担当する児童がいました。

橘小学校の「『情報保障』はすばらしいなあ。」と感じました。

橘小学校の皆さん、ありがとうございました。これからも「誰もが話がよく分かり、過ごしやすい学校」を目指してください。

（本校ホームページ「聾学校日記」７月11日の掲載記事より）

「聲の形」が映画化されます

みみちゃん59号で御紹介した大今良時の漫画「聲（こえ）の形」が映画化されます。上映は９月17日（土）からです。

なお、この映画は、日本語字幕付きでの上映もあります。

期間は、公開２週目の９月24日（土）から９月30日（金）の間で、１日に１回だけ、日本語字幕付きで上映されるそうです。

ちなみに愛媛県では、シネマサンシャイン衣山での上映が決定しています。

編集後記

「みみちゃん69号」をお届けいたします。お母さんをたたえる会の体験発表を読み、是非この発表を紹介したいと思ったのが５月のことでした。すぐに協会に確認を取ったものの、前号にはもうスペースがなく、今回ようやく掲載することができました。みみちゃん担当者が印象に残ったのが『家族みんなで**同時に笑う**』というフレーズです。会話の同時性、即時性が生み出す快適さを聞こえる人は見落としがちです。特に毎日の何気ない会話（雑談）こそ、瞬時に意味が伝わらないと、会話の面白さが半減してしまいます。聴覚障がいのある人は、瞬時に、楽に、聞くことができないから「障がい」となる訳です。注意したり、聞き返したり、書いて確認したりする必要がなく「同時に笑う」手段を家族で共有できている子供は、少なくとも家の中では「障がい」は感じないでしょう。いよいよ夏休みになります。御家庭でも「同時に笑う」ような会話が少しでも多くできる機会になればと願っています。